

# 相談支援班からのおたよりです



令和5年5月2日発行

岩戸支援学校 支援連携グループ相談支援班

青葉若葉が輝く季節になりました。初夏の風もさわやかに、葉桜となった岩戸の桜並木を吹き抜けていきます。そして新年度がスタートし、1か月。ちょっとした「慣れ」が「油断」につながる時期でもあります。目的と計画性を持ち、相手の気持ちを考えながら行動できるよう心がけていきましょう。

## 支援学校の大きな役割～センター的機能～

「センター的機能」は、学校アンケートなどでも出てくる言葉ですが、一般的にはわかりにくく、昨年度のアンケート結果でも「よくわからない」という回答が多くを占めました。「センター的機能」をわかりやすく言えば、「こんな支援があればできる」「こんな環境があればわかりやすい」といった、個々の特性や困り感にそった特別支援学校での日常的な取り組みを、地域の学校などへ発信していくことです。「センター的機能」は特別支援学校の大きな役割でもあります。つまり、すべての教員が「センター的機能」の取り組みを日々の教育活動として行っているということになります。

そして「どのような手立てがあるのか?」「どのようなことが効果的なのか?」といった困り感に助言や情報提供をすることが巡回相談です。巡回相談は、相談担当や専門職(OT)が、地域の中学校や高等学校または教育委員会からの依頼を受け行います。武山支援学校の相談担当や専門職(心理職)とも協働しています。



## 相談支援班の4月

新年度のはじめは挨拶回りからスタートです。児童相談所、市町の教育委員会、福祉課などを中心に、横須賀・三浦・逗子・葉山の3市1町を回りました。長年顔を合わせている担当者、新しく赴任された方などと、学校との連携・協働をお願いしました。また、市町の諸会議に出席し、地域の課題や今年度の取り組みについての情報共有を行いました。今後も定期的に諸会議への参加をし、学校の様子を発信していきます。

校内では、身体計測や給食などを通して生徒の様子を観察し、担任と情報を共有しています。また、ご家庭で気になること(今までと違う言動や生活の乱れが現れるなど)がありましたら、お気軽にご相談ください。

## スマホに注意を！！

最近よくニュースに取り上げられるスマホやSNSを入り口とした犯罪があります。未成年の犯罪報道では名前や顔写真が公開されることはありませんが、ネット上では実名や学校、住んでいる家や親兄弟の仕事まで特定されてしまいます。なぜ個人情報を突き止めたのか、不思議に思うことがあると思います。実は、無意識のうちに自分のスマホ操作や家族のSNS投稿をきっかけに、ヒントを与えてしまっていることがあるのです。

個人を詮索する人たちは、断片的な情報をつなぎ合わせて、狙う人の個人情報を特定します。制服やジャージから学校名がわかります。友人からのコメントで誕生日がわかればそれに絡めたパスワードでログインしようとしています。写真の背景に写っている電柱や建物、看板などから生活している範囲が特定されます。「いいね！」しただけで、いろいろな情報が読み取られてしまうのです。

「スマホの使い方くらいわかってるよ」「自分は大丈夫」といった過信はとても危険なのです。一度ネット上に暴かれた個人情報は、ほぼ永久に消えず、世界中にばらまかれます。そうしたリスクがあることを知り、家族とも対策を考えるようにしましょう。



## ルールを守るといふこと

以前にも「ルールを守ることで人は謙虚さや素直さを学び、社会での協調性や心の強さを身につけ、大人になっていく」という話を載せたことがあります。学校でのルールは集団生活での秩序を守るため、また個々の危険回避のためにあり、学校のルールを守るといふことは、社会に出た時に信用される人になるための学習なのです。

警察より、こんな話がありました。あるゲームセンターでのことです。お菓子のUFOキャッチャーを揺らしてお菓子を落として取り出す行為があったそうです。お菓子のUFOキャッチャーは、お金を入れ、操作をしてお菓子を落とすという「店のルール」があります。それを、不正な手段で景品を獲得するということは懲役刑や罰金が科せられる「窃盗罪」であるということです。「うまくとれなかったから」「ちょっといたずら心で」は通用しません。犯罪なのです。バイトテロ、犯罪予告、飲食店での様々な行為…アクセス数をあげたい、注目を浴びたいという軽い気持ちからしてしまったことが、取り返しのつかないことになるのです。やってもやらせてもダメなものはダメ！そそのかされても断る勇気を持ちましょう。